

東京都立水元小合学園

令和8年1月23日(通算135号)

東京都立水元小合学園 校長 小池 巳世

SNS

随時更新中



自己決定

肢体不自由教育部門 副校長 佐々木 和江

新しい年がスタートしました。今年の干支は午(うま)です。午は十二支のちょうど真ん中にあたり、太陽が最も高く昇る正午を表しエネルギーの充実を意味します。また、動物の「馬」を象徴しています。これらのことより、うま年は「勢いよく進む」「大きく成し遂げる」年といわれています。一人一人が、活発に自由に自分の思いを成し遂げる一年にして欲しいと願っています。

【 自己決定 】

人の幸福度は、「健康」>「人間関係」>「自己決定」>「所得」というアンケート結果があるそうです。お金以上に大切なのは、「健康」「人間関係」「自己決定」ということです。この中で興味深いと思ったことは、「自己決定」です。自己決定で進路を決めた人は、成果に対する努力を惜しまないため、責任や誇りをもちやすく、達成したことによる幸福感が高いそうです。

皆さんは、普段の生活の中で自分で決めることがどのくらいあるのでしょうか？また、自分で決めて過ごしている時間がどのくらいありますか？自己決定感とは「何を選んだか」ではなく「自分で選んだ」という感覚から生まれます。自己決定感を高めるためには、小さな決断を積み重ねることです。決断を選択と読み替える方が分かりやすいかもしれません。小さな選択を習慣化してみてください。例えば、①寝る前に朝起きたときの飲み物を決める。②「1曲分目を閉じる」など休む時間を決める。③何時以降はスマホをいじらないと「やらないこと」を1つ決める。など生活の中で、やることだけでなくやらないことを選択することも良いそうです。あくまでも、誰かに決めてもらうのではなく自分で決めることが大切なポイントです。

選ぶ力が未来を創ります。午(馬)年の力、エネルギーを借りて挑戦してみてください！

部活動 ハンドサッカー大会に向けて

肢体不自由教育部門 主幹教諭 佐藤 しほ

今年も大会に向けて、練習を積み重ねています。生徒たちは「ゴールを決めたい!」「仲間と力を合わせたい!」と意欲を見せ、声を掛け合いながらプレーしています。パスが繋がった瞬間やシュートが決まったときには、笑顔と拍手が広がり、体育館は温かい雰囲気になります。

今年は「IncluFES2026 ハンドサッカーエキシビジョンマッチ(1月24日)」と「東京都肢体不自由特別支援学校ハンドサッカー大会(2月14日)」の2大会があります。大会は、勝敗だけでなく、仲間と協力しながら挑戦する楽しさを感じる事が大きな目的です。本番では、練習の成果を発揮し、子供たち一人一人が達成感を味わえるよう、教職員一同でサポートしていきます。

本校は鹿本学園と合同チームで出場します。先日12月20日(土)には墨東特別支援学校、花畑学園、鹿本学園、水元小合学園の4校で合同練習(練習試合)を行いました。本番までがなく安全に力を合わせて取り組んでいきます。

肢体不自由教育部門

児童・生徒集会：小学部6年生 中学部3年生

肢体不自由教育部門 教諭 千葉 佳子

12月25日（木）の児童・生徒集会で、10月に行ったBumb東京スポーツ文化館移動教室の発表をしました。江戸川区の魔法の文学館に立ち寄り、文化館ではおいしい食事やレクリエーションを楽しみ、大きなお風呂に入ったこと等を「児童のこれぞ!」という写真と共に報告しました。そして、「南極へ行こう」の替え歌、「宿泊へ行こう」を披露しました。移動教室の当日は天気も良く、館内はハロウィンの装飾がなされ、素敵な写真がたくさん撮れました。小学部最後の宿泊で、楽しい思い出が、また一つできました。

肢体不自由教育部門 主任教諭 大谷 貴志

1月8日（木）の児童・生徒集会では、12月に行った学習発表会の発表をしました。中学部は、「昔話オールスターズ」と題し、6つの昔話を自分の得意なことで表現しました。集会では「金のがちょう」のワンシーンである、がちょうに触ったあとくっついてしまい取れなくなるシーンを披露し、中学部全員の生徒がつながり、音楽に合わせて小学部、高等部の児童・生徒の周りを賑やかに回りました。楽しい雰囲気を作り、1月の学習スタートに活気を付けることができました。

就業技術科

総合文化祭（舞台芸術・演劇祭）

就業技術科 主任教諭 南 美佳

演劇部は、12月27日（土）に池袋の東京芸術劇場で開催された「東京都特別支援学校第34回総合文化祭 舞台芸術・演劇祭」に参加しました。

今年の演目は、『ぼくらの大事なこと』。コミュニケーションが苦手な演劇部の部長アキラが、ひよんなことから同じ悩みをもつ鬼の頭領の酒呑童子（しゅてんどうじ）や人間と仲良くなりたい妖怪たちと出会い、「本当に大事なことは何か」に気付く心温まる物語。14人の部員一人一人が個性豊かに、見事に役になりきって演じ切りました。

1年生は、今年が初めての参加とは思えない実には堂々とした立ち振る舞いで、楽しみながら演じることができました。2年生は昨年の経験から、舞台の怖さを感じつつも、自分の役割を責任もって果たすことができました。3年生はさすがの一言。自身がせりふを言わない場面でも仕草や表情といったことで細かな演技を行い、舞台に一体感をもたらしていました。

当日舞台を観にきてくださった皆さん、手拍子などで盛り上げてくださり、ありがとうございました。熱い声援が本当に励みになりました。また本番を迎えるまでも多くの方から励ましのお言葉をいただきました。関わってくださった全ての皆様に、心から感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。ありがとうございました。